

# 人権教育月間

校長講話

R4・11・8

多様性 ～みんな違ってみんないい～

そして 未来と自分は変えられる

スライド12枚

# この時間の見通し

## 11/22(火)講演会「多様性と助け合いの社会を知ろう」

1 15～20分ほど、講話を聞いてください

①多様性に関して ②見方・考え方のチェンジ

2 ②のとき「自分の長所と短所」を書く時間をとります

3 講話後、班でリフレクション(振り返り)、担任より

①どの話から何を考えたか ②問いが芽生えたか

# ① 多様性(ダイバーシティ/DIVERSITY)とは

ダイバーシティとは、元々はアメリカで始まった差別のない採用や処遇を実現するために生まれた概念。それが先進国を中心に広がりを見せ、「多様な働き方の受容」として使われるようになった。

そもそも身の回りには、**人種・性別・年齢**はもちろんのこと、**学歴・国籍・言語・信仰・ジェンダー・性格・価値観・障がい**など、人によって様々な多様性がある。

# SDGS「ジェンダー平等の実現」

昨年6月の人権教育月間

女性はどうすべきとか、こうあるべき。男性はこうあるべきとか、こうすべきという概念 「女らしく」とか「男のくせに」

性別に関するステレオタイプによって、偏見や差別、不平等につながるものが問題。

↓  
多くの人が無意識にもっている固定観念や先入観、思い込みやレッテルなどのことが差別や偏見につながる。

ジェンダーとは、生物学的な性別に対して、社会的・文化的につくられる性別のことで、男性と女性の役割や仕事などの違いによって生まれる性別のこと。

また、現代では性的マイノリティ(少数派)と言われるLGBTに対する理解促進が求められています。

L(レズビアン)G(ゲイ)B(バイセクシャル)T(トランスジェンダー)に続く言葉を知っていますか？ Q(クイア・クエスチョニング)までは知っている人が多いと思いますが... L・G・B・T・Q・Q・I・A・A・P・P・O・2S



# 障がいに対する理解

障害 → 障碍（がい） 碍（さまたげ） **その人に害はない**

大きくは、身体・知的・精神の3つに分類されますが、ウィキペディアには一覧として、60以上の障がい名が五十音順で載っていました。

多様な「障がい」 = 特性であり特徴であり**個性**である

22日の講演会では、身体に障がいがある方から体験上のお話が聞けると思います。相手の立場を想像しながら、学びを自分自身に吸収してください。

冒頭、そもそも身の回りには、人種・性別・年齢・学歴・  
国籍・言語・信仰・ジェンダー・性格・価値観・障がいな  
ど様々な多様性があると話しました。

ここに挙げられている中においても、多種多様な違い  
が存在し、世の中が成り立っています。

しかし、現実社会では、この違いがあるからか？差別  
や排除、誹謗中傷や犯罪とか、世界に目を向けると、  
紛争や戦争なども起こっています。

# ① 多様性に関する話のまとめ

多くの人が無意識にもっている「固定観念や先入観、思い込みやレッテル」などが、差別や偏見につながると言いましたが、「自分と違うから」という考えによっても差別や偏見をしてしまう場合があります。

みんな違ってみんないいはずなのに 「なぜ、人は人を責めてしまうのでしょうか？」、「多様な人権課題の根本には、共通するものがあるのではないか？」



## ② 見方・考え方のチェンジ

事前に学習カードを配付してもらいました。

◎自分の長所や、良いところだと言ってもらったこと

△自分の短所や、直したらいいと指摘されたこと

について、思いつくことを書き出してください。

時間を3分ほどとります。友だちと話をしてもよいので  
教室内が少しザワついても構いません。

担任の先生は、資料1・2を配付してください。

1 逆転の発想：明るくプラス思考25項目

2 リフレーミング／ネガポ辞典

この資料を見ながら、自分の短所（ネガティブ）を

ポジティブに変換してみましょう。

時間を3分ほどとります。友だちと話をしてもよいので  
教室内が少しザワついても構いません。

## ② 見方・考え方のチェンジのまとめ

ものの見方・考え方を180° 変えてみると、同じものでも感じ方が変わってくるものです。マイナスと思っていたことが、プラスに転じることがあります。

自分なんか...と くよくよすることはありませんし、苦手と思う人に対しては、自分が勝手にマイナスの方向に思い込んでいるのかもしれない。

過去と他人は変えられない。しかし、  
今ここから始まる 未来と自分は変えられる。

# 班でのリフレクション(振り返り)

- ① 班になり、**じゃんけんで勝った人**が司会をしてください。
- ② 「なるほどと思ったり、共感したりすること」「疑問に思ったり、問いが生まれたりしたこと」について、自分の考えを友だちに伝えるとともに、友だちの考えをしっかりと聴いて、キーワードをメモしてみましょう。
- ③ 1番目に話す人は司会者が決めてください。できれば2番目以降は「同じ考えだ」だとか「関連するな」と思った人が、指名される前に話してください。記入していないことも付け加えて発言できるといいですね。
- ④ 設問2つを終えたら、司会者は設問3「自分の生活に活かせそうなことを記入してください」を伝えて、任務終了となります。

終了時間は担任の先生方が伝えてください。残りの時間は担任の先生方にお任せします。